

こじまわんかんたく  
**児島湾干拓**

こじまこしゅうへん  
**児島湖周辺の田んぼは、その昔は「吉備の穴海」**  
よとおあさ  
**と呼ばれていた遠浅の海でした。**  
ていぼう しき かんたくこうじ  
**この海を堤防で仕切り、干拓工事により、海が田  
んぼになったのです。**



# 藤田伝三郎が始めた世紀の大事業「児島湾干拓」

1868年に江戸時代が終わり、明治になりました。岡山県では、岡山藩のお殿様に仕えていた人々が職を失ったので、こうした人たちが農業を行うことで生活ができるようにと児島湾沿岸での干拓事業が始まりました。

児島湾干拓を実現するために岡山県は、明治政府へ調査をいらいし、ムルデルというオランダ人技術者がはけんされ、ムルデルにより現在の児島湾干拓のきそになる「開墾復命書」が作成されました。

しかし、干拓工事には多くのお金が必要なたため、思うように新しく田んぼを造る工事ができずに大変こまっていました。



ムルデル（1848－1901）  
オランダ生れの土木技師。  
明治12年に来日する。  
明治23年（1890）に完成したわが国土木史上、屈指の大事業となった利根運河を手がけた。  
（写真提供：黒部市）



藤田伝三郎（1841－1912）  
山口県萩市出身。  
高杉晋作の騎兵隊員だった。  
明治維新後、藤田組を組織し、数多くの事業を行う。  
岡山市藤田という地名は、児島湾干拓で偉業をなした藤田伝三郎の「藤田」が地名となった。  
（写真提供：児島湾中央管理事務所 児島湾干拓資料室）

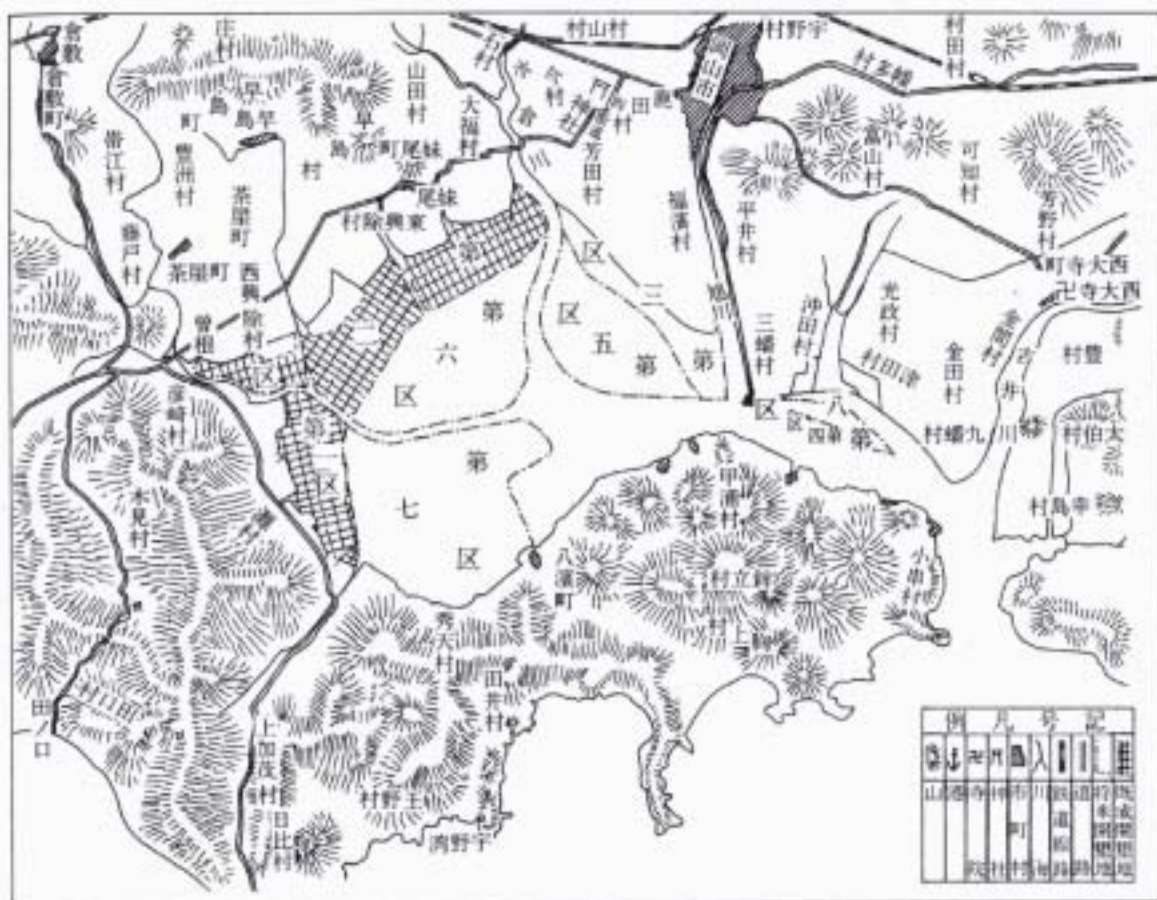
そこで、岡山県は大阪の大富豪「藤田伝三郎」に干拓工事を行うことをお願いし、明治17年に「藤田組」が組織され、伝三郎の個人のお金により干拓工事が始まったのです。

当時は、まだコンクリートも無い時代で、粗朶や捨石により堤防を築く江戸時代の方法で行われましたが、児島湾の干潟は底なしの状態のため、堤防工事をしている最中に次々と造った堤防が泥の中にうまってし

もう大変むずかしい工事となり、伝三郎は借金を重ねながら工事を進めることになってしまったのです。

ムルデルの「復命書」では、第1～8区に分けて児島湾の干拓が計画されていましたが、藤田組はこのうち、第1、第2、第3、第5区と第6区のとちゅうまで干拓工事を行い、明治32年に着工してから昭和23年までの間に2968haもの干拓を行いました。

藤田伝三郎は、明治45年にこの世を去りましたが、最初に着手した第1区、第2区の1758haのうち、1230haを藤田農場としました。



オランダ人技術者のムルデルが作った「児島湾開墾計画図」  
 児島湾干拓は、この「児島湾開墾計画図」に従い工事が進められました。  
 第一、三区と第五、七区は、現在田んぼになっています。  
 第四区と第八区は、工事が行われませんでした。

図1-2 児島湾開墾計画図 資料：児島湾開墾史付図

今では、トラクターやコンバインを使いお米を作ることが当たり前になっていますが、当時は、牛や人間の力で田んぼを耕していた

ため、お米を作ることは大変な重労働でした。このような中で、  
藤田農場では、大きぼな機械農具を使用した近代的な農場経営が行  
われたため、全国から注目を集めました。

その後、昭和23年に第6区を  
工事していた藤田組、第7区を  
工事していた農地開発営団から国  
(農林省)が干拓工事を引きつぐ  
ことになり、第6区は昭和30年に、  
第7区は昭和38年にそれぞれ完成  
しました。しかし、第4区と第8区  
は、工事が行われませんでした。



当時の干拓潮止め堤防工事の様子  
海の中に堤防を築く大変な難工事だった。  
向こう側に見える山は、児島半島です。  
(写真提供：児島湾中央管理事務所  
児島湾干拓資料室)

明治32年に藤田組が干拓工事に着手して以来、5676haの  
干拓が行われ、4263haの田んぼができました。

しかし、新しく造られた児島湾周辺の干拓地は、いつも水が不足  
してこまっており、田んぼの用水を確保するため、昭和25年に  
「児島湾淡水湖化事業」が国(農林省)の工事として開始されまし  
た。これは、児島湾を1558mの巨大な堤防で締め切り海水をし  
ゃだんして、1088haという当時世界第2位のきよだいな淡水  
湖を造成するというものでした。

昭和37年に児島湖が完成し、児島湾周辺の干拓地は「かんばつ」  
ひがいから開放されることになりました。

わたしたちの周りに広がっている田んぼや水路、川といった当  
り前に見える景色も実は、先人たちの努力によってできた大切なし  
げんなのです。

参考文献：岡山県土地改良史(昭和59年9月1日 岡山県土地改良事業団体連合会)